

霊とまことによる礼拝をしましょう

ホープ・チャペル所沢
ヨハネ福音書4:20-24

「しかし、真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのような人々を礼拝者として求めておられるからです。神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」（ヨハネ4:23-24、新改訳）

序文

「なぜ私たちはここにいるのか」というのが年明けからのテーマですが、それを知るためには、私たちがなぜこの場所に共に集っているのかについて考えることが大切です。私達ホープトコは、祈りと意味のある人間関係を通して人々をイエス様に導きたいと考えています。祈りと意味のある人間関係を通して、霊的なコミュニティはつくられます。これに関して、ラリー・クラブ博士は次の様などとも良い説明をしています。「霊的なコミュニティとは新約（新しい契約）の共同体のことで、…新約の4つの規定に基づいた関わりを互いに持つ、神様のもとへと旅をしている人々をいいます。」博士によると、その4つの規定とは、新しい清さ、身分、動機、そして力なのですが、それらはキリストにしかないものです。その結果、これら4つの新たな熱望を生み出すといわれています。それは、礼拝すること、信頼すること、成長すること、そして従うことです。そしてこれら全ては、まず礼拝から始まるのです。

1. 新約的な礼拝は、特定の場所に限られていません。 （ヨハネ 4:20）

- ア) 場所や空間よりも礼拝には最低 2 人が居なければなりません。
- イ) どのように礼拝するかは場所だけの問題ではありません。

2. 誰に対して礼拝するのが、一番大事なことです。 （ヨハネ 4:21-23）

- ア) 礼拝するためには、最低限の知識が必要です。
- イ) 礼拝するためには、最低限の神様との関わりが必要です。

3. 父なる神様は、真の礼拝者を探し求められています。 （ヨハネ 4:23-24）

- ア) 「真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する」のです。
- イ) 「神は霊ですから、神を礼拝する者は霊とまことによって礼拝しなければなりません」

私たちの祈りと学び、話し合いと応用のために：

1. ヨハネ 4:20-24 を再度読みましょう。サマリヤの女が考える「礼拝」とは何でしょう。
2. 礼拝するとは何を意味しますか。あなたが考える礼拝について話し合ってください。
3. 礼拝時の動作や姿勢は、神様への礼拝をどの様に補っている（又は妨げている）でしょうか。

結論

霊的なコミュニティは、私たちが謙遜へと導く礼拝から始まり、神様や人々と互いに心と心で交わることが出来る時間と場所を与えてくれます。

021708hctj